

報道関係者各位

プレスリリース

2021年10月28日

## 新商品「大福茶」を11月1日から販売開始します

～コロナ禍の今こそ飲みたい 無病息災の願いを込めたお茶～

江戸時代末期創業の老舗茶舗 千紀園（本社：滋賀県草津市上笠 2-11-8、代表取締役：大石直永）では、「大福茶（おおぶくちゃ）」の販売を2021年11月1日から開始いたします。



年末になると京都を中心に関西周辺のお茶屋さんでよく販売される「大福茶」は、一年の無病息災を願ってお正月にいただく縁起の良いお茶です。

弊社ではこれまで小袋での販売のみ行なっていましたが、今年は中身を大幅にリニューアルし、紅白の茶缶入りの商品が新登場。

コロナ禍の今、感染症鎮静の祈りとともに気持ちも新たにお届けします。

### ■大福茶の歴史

その歴史は平安時代まで遡ります。庶民のために尽くし「市聖（いちのひじり）」と称された空也上人が、京の都で疫病が大流行した時、悪疫退散を願ってお茶を病人に振る舞ったところ、疫病が静まったと言われています。

その後、村上天皇（946～967年）もこの徳にあやかろうと、毎年お正月にこのお茶を飲むよ

うになったことから「皇服茶」「王服茶」と呼ばれるようになり、そこから転じて「大福茶」となったそうです。

## ■ なぜ今「大福茶」なのか

2020年から始まった、新型コロナウイルスとの戦い。

出かけたいときに出かけられない。会いたい人に会いたいときに会えない。

常にマスクをしていて、友達の顔さえはっきりと見ることができない。

私たちの日常は、すっかり様変わりしてしまいました。

今もお続く目に見えないウイルスとの戦いは私たちの心と体に重く暗い影を落としています。

平安時代に空也上人が目にした疫病を恐れ苦しむ市井の人々の姿は、現在新型コロナウイルスと戦っている私たちと同じだったかもしれません。

「老舗茶舗として、お茶で皆さんの無病息災と一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を強く願う気持ちを伝えたい」。

そのような思いを込めて商品開発しました。

## ■ 老舗茶舗 千紀園の「大福茶」の特長



### 1、 老舗茶舗ならではの品質な茶葉

ひとくちに「大福茶」と言っても、その味はそれぞれのお茶屋によって多種多様です。

弊社の「大福茶」は京都府産の玉露、滋賀県産の冠煎茶の茶葉をブレンドしています。

上質でマイルドな口当たりの美味しいお茶となっています。

## 2、 こだわりのパッケージ

パッケージは、Masahiro Minami Design の南政宏先生（滋賀県立大学講師）にデザインしていただきました。

おめでたい紅白をテーマカラーにし、その上で上質感、高級感を出すことを考えました。

また、大福茶の文字の周囲にある六角形の形は亀をイメージしたものです。

缶の蓋を開けると千紀園の鶴のマークが出てきて、鶴と亀が出会うようデザインされています。

特別感のある金色の銘は、無病息災の願いを込めて毛筆でしたためたもの。

お正月をより華やかにします。

### ■ 大福茶概要

<https://shop.senkien.jp/fs/senkien/c/goodfortunetea>

販売期間：2021年11月1日～2022年1月26日（店舗は11月15日開始）

商品詳細：大福茶 100g 和紙袋 1,296円（税込）

大福茶 166g 一本詰め 2,700円（税込）

大福茶 207g 一本詰め 3,240円（税込）

大福茶 83g×2本 詰め合わせ 3,240円（税込）

大福茶、宇治茶玉露「秀峰」詰め合わせ 5,400円（税込）

様々なお茶との詰め合わせなど、他にも多数商品ご用意しています。

### ■ 会社概要

商号：株式会社 千紀園

代表者：代表取締役 大石直永

所在地：〒525-0028 滋賀県草津市上笠 2-11-8

創業：江戸時代末期

事業内容：日本茶、茶道具、抹茶スイーツの販売

URL：<http://www.senkien.jp/>

### ■ 本件に関するお問い合わせ先

企業名：株式会社 千紀園

担当者：広報室

TEL：077-562-3423

Email：[note@senkien.jp](mailto:note@senkien.jp)